

情報管路下図作成・入力作業要領

1. 提供資料等

- ① 札幌市よりセンターが借用する電線共同溝整備事業完成図書
- ② 電線共同溝入力下図
- ③ 下図作成用道路地形プロッタ図 (59 メッシュ)

2. 作図・入力枚数

59メッシュ

3. 下図作成項目

1) 図形情報

- ① 主管路 (通信ルート・電送ルート・共同収容ルート)
- ② 引き込み管路 (官地・民地境界まで)
- ③ 特殊部 (官・民境界に設置された小型ハンドホールは除く)

2) 文字情報

属性情報

(属性情報が変更になった都度作成)

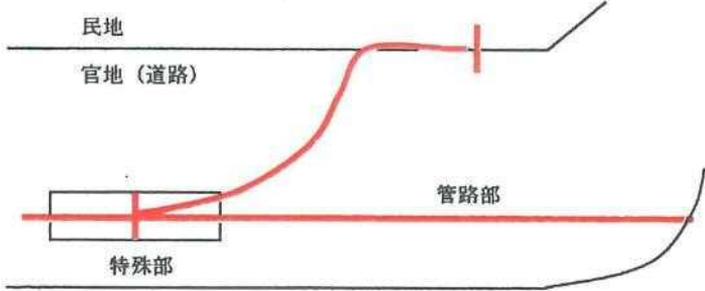
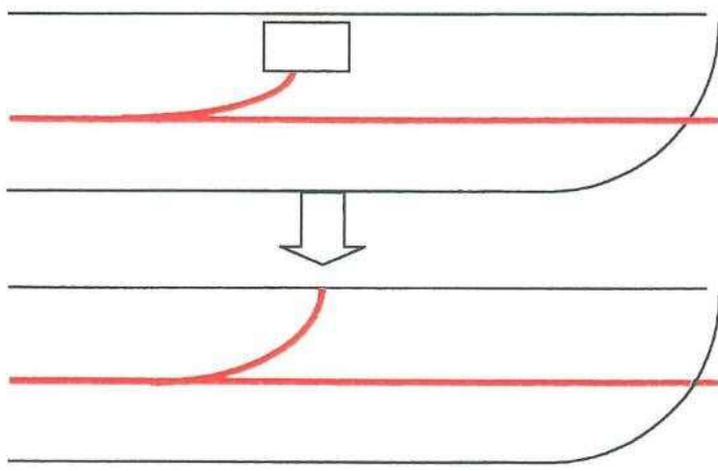
データ名称	管路	特殊部	備考
情報管路種別	○	○	略称で記載*のこと。
共同溝名称	○	○	同一メッシュ内1名称の場合は代表管路一箇所の表記で可。 複数名称の場合は判別可能な方法でメッシュ枠外などに注釈として記載可。(マンホールはマンホール名称を記載)
建設年(4桁整数)	○	○	西暦(4桁)で記載
管路条数(2桁整数)	○		共同収容の場合は断面上で通信ルート・電送ルート共同収容されている箇所については合算で、そうでない場合はルート別に抽出し記載。
延長(整数cm.単位)	○	○	管路延長は特殊部内延長(外形)を含まない埋設延長を記載する。胴締め部では情報を切らない。(従来、特殊部内延長についても案分し管路延長に加算していた方式を改める) 特殊部寸法は筐体真形の最大延長を記載する。
幅(整数cm.単位)	○	○	特殊部寸法は筐体真形の最大幅を記載する。
高さ(整数cm.単位)	○	○	特殊部寸法は筐体真形の最高値を記載する。
深さ(整数cm.単位)	○		最浅層部の土被り

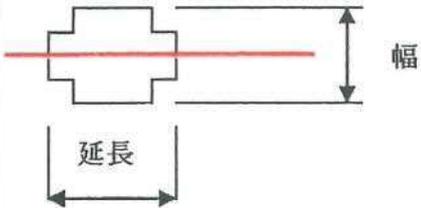
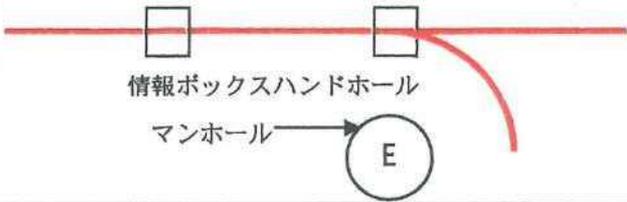
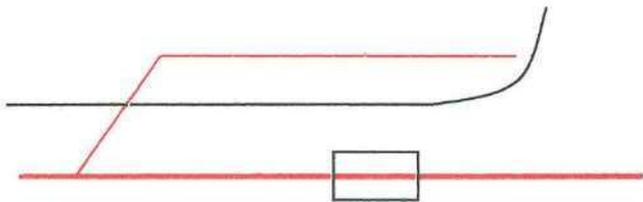
* 電線共同溝(CCB) 通信ルート(CCB-T) 電送ルート(CCB-E)

自治体管路(GCB)

情報ボックス(ICB)

4. 表記方法

項目	線種・サイズ	備考
管 路	実線 (電送ルート赤) (通信ルート青) 0.3ミリ程度	<p>官・民境界に設置された小型ハンドホールは表現せず、引き込み管路の終端を民地へ接することにより表現する。</p> <p>工事年度・管路条数・引込み線終端部にテック線を記入しデータの変化部を明確にする。</p> <p>筐体内は見通しで管路を連続させる。(分岐部を明確にするため)</p>  <p>入力时分岐部分が輻輳する場合は一旦側面へずらして入力する。</p> 
管 末	実線 (電送ルート赤) (通信ルート青) 0.3ミリ程度	<p>主管路および引き込み管路終端に垂直に引いた実線(実延長1~1.5ミリ、太さ0.3ミリ程度)により「止め」を表現する。</p> <p>引込み線は民地境界まで伸ばす。</p> <p>(例)</p>  <p>民地境界に設置されるハンドホールは表現すると情報が輻輳することから、道路管理者と調整の結果入力しないものとする。</p> 

<p>特殊部</p>	<p>実線 (電送ルート赤) (通信ルート青) 0.3 ミリ程度</p>	<p>資料に基づき管体の外周を真形で記入する。マンホール・制御盤等地上構造物は表現しない。</p> <p>管体延長・幅は詳細図より、高さ・土被りは縦断図より記入。(スケールアップ可)</p> <p>管体の変形している際はそれぞれの最大値を記入</p>  <p>情報ボックス用ハンドホール(300φ)は2mm角で表現する(入力時も占有物件のマンホールより小さい口で表現)</p> 
<p>旗揚げ</p>	<p>実線 (電送ルート赤) (通信ルート青) 0.3 ミリ以下</p>	<p>管路(引込み線を除く)および特殊部についてそれぞれ属性を抽出し、その近傍の民地内へ旗揚げし記載するものとする。旗揚げ線と管路との区別が付くように表現する。</p> 

5. 属性抽出

1) 情報管路種別

- ①CCB/電送ルート・通信ルート共同収容形態
- ②GCB/自治体管路
- ③ICB/情報ボックス
- ④CCB-T/通信単独ルート(電送特殊部迂回ルート等)
- ⑤CCB-E/電送単独ルート(通信特殊部迂回ルート等)

2) 建設年

- ①工事年度とする/工事暦が明確でないため年度末の西暦を記入
例:平成13年度工事は完成を14年3月で2004と記入

3) 条数

竣工平面図の略図および管路断面図を参考にする

4) 延長

①竣工平面図か縦断図より管路延長は特殊部内延長（外形）を含まない埋設延長を記載する。

②胴締め部では情報を切らない。

③筐体を含む延長が記載されている場合は標準施工図（無い場合はスケールアップ）により筐体寸法を減ずる。

④工事年度、条数、共同溝の変化部もそれぞれ旗揚げする。

5) 幅・高さ

管路図断面より記入。（数値表記の無い場合は縦断図よりスケールアップ可）

6) 深さ（土被り）

①縦断図より旗揚げする区間の最小値を記入

②工事図書が不明等で数値記入できないときは「－」を記載。

*確認したことを明確にするため

7) 共同溝名称

個々の旗揚げに共同溝名称を都度記載することで情報が煩雑になる場合は記入せず、1図葉1路線の場合図葉右上に名称を記入し、複数ある場合はその境を明確に区別できるようおおよそのエリア内に記載する。

8) その他

①管路／1本線とする

②管路属性は本線および横断線とし、引込み線は表示しない

6. その他

作業中疑義が生じた場合は速やかに報告し、対応指示を受けるものとする。必要に応じて本作業要領に内容を追補するものとする。